

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回11月の「てがたん」は11月13日(土)で「鳥の渡りとモズの高鳴き」がテーマです。

ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは**10月27日(土)**です。よろしくお願いいたします。

10月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→山階鳥類研究所前の道→香取神社→桃山公園→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2012年10月13日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加人数 18名(一般10人、子ども8人)
- 市民スタッフ 8名(石原直子、伊東茂子、須貝基康、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、村田富美子、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 3名(齊藤安行、染谷実紀、村松和行)

観察記録 - 10月てがたんで観察した生き物リスト-

【鳥類】

ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ、チュウサギ、コサギ/カモ科：カルガモ、コガモ/タカ科：サシバ/クイナ科：バン/ハト科：キジバト/キツキ科：コゲラ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/モズ科：モズ/エナガ科：エナガ/シジュウカラ科：シジュウカラ、ヤマガラ/メジロ科：メジロ/アトリ科：カワラヒワ/スズメ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス

【両生類】 アマガエル科：ニホンアマガエル/アカガエル科：ウシガエル(幼生)

【魚類】 メダカ科：メダカ 【菌類】 スッポンダケ科：キツネノエフデ

【昆虫・クモ】

トンボの仲間：ノシメトンボ、コシアキトンボ、ウスバキトンボ/バッタの仲間：ショウリョウバッタ、オンブバッタ、エンマコオロギ/カメムシの仲間：キバラヘリカメムシ/チョウ・ガの仲間：キタキチョウ、モンシロチョウ、ウラギンシジミ、ツマグロヒョウモン、ホタルガ、セスジスズメガ(幼虫)/ハチの仲間：オオスズメバチ/カマキリの仲間：チョウセンカマキリ、ハラビロカマキリ/クモの仲間：オニグモ、ナガコガネグモ、ジョロウグモ

【花】

キク科：ハキダメギク、ノゲシ、アメリカカタカサブロウ、セイヨウタンポポ、アキノノゲシ、ホウキギク、ハハコグサ、ヒメムカシヨモギ、セイトカアワダチソウ、オオハルシャギク(コスモス)/カタバミ科：カタバミ/ツユクサ科：ツユクサ/タデ科：ミソソバ、ミズヒキ、イヌタデ、シロバナサクラタデ/オシロイバナ科：オシロイバナ/キツネノマゴ科：キツネノマゴ/シソ科：イヌゴマ/ヒユ科：ツルノゲイトウ/マメ科：シロツメクサ/フウロソウ科：ゲンノショウコ/キンポウゲ科：センニンソウ/キョウチクトウ科：キョウチクトウ(植栽)/モクセイ科：キンモクセイ(植栽)

【実】

キク科：ダンドボロギク、アメリカカタカサブロウ、オオオナモミ/タデ科：ミズヒキ/オシロイバナ科：オシロイバナ/スミレ科：スミレ/フウロソウ科：ゲンノショウコ/キク科：コシロノセンダングサ/ハエドクソウ科：ハエドクソウ/ヒユ科：ヒナタイノコヅチ/イネ科：チヂミザサ、チカラシバ、ヨシ/ミカン科：サンショウ/モクレン科：コブシ(植栽)/ツバキ科：ツバキ(植栽)、ヒサカキ(植栽)/マメ科：クズ、ヌスビトハギ、フジ(植栽)/バラ科：トキワサンザシ(植栽)/ニレ科：ムクノキ、エゴノキ(植栽)/ミズキ科：ヤマボウシ(植栽)/モチノキ科：モチノキ(植栽)、ソヨゴ(植栽)、クロガネモチ(植栽)/クスノキ科：クスノキ(植栽)/オシロイバナ科：オシロイバナ/モクセイ科：トウネズミモチ、シマトネリコ(植栽)/カキノキ科：カキ(植栽)/アケビ科：ムベ(植栽)/クマツヅラ科：クサギ、コムラサキシキブ(植栽)/マタタビ科：キウイフルーツ(植栽)/ブナ科：シラカシ/ニシキギ科：マユミ(植栽)/ゴマノハグサ科：キリ(植栽)

10月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「色々な植物たちの種子散布」でした。動物にくっついたり、風に飛んだり、水に流されたりと様々な植物たちの種子散布についてお話してもらいました。手賀沼では冬鳥のコガモがみられました。



今月の案内人：湯瀬一栄さん、古川克彌さん



①

コブシは実を鳥などに食べられることで種を遠くまで運ぶ



②

エゴノキの実はやマガラの好物



③

センニンソウの種は長いヒゲのような毛があり、風に乗って運ばれる



⑤

鳥に目立つように赤い色の実をつけるモチノキ



⑥

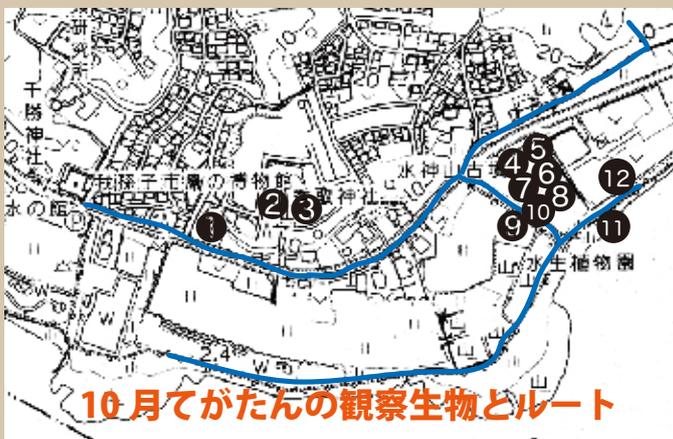
梅雨～秋にかけて見られるキノコのキツネノエフデ(写真はシワシワの状態)



④

古川さんの種子紹介① シンジュ

ニワウルシは別名シンジュと呼ばれ、種には翼があり、少しでも遠くに散布されるようにクルクルと回転しながら落下します。



10月てがたんの観察生物とルート



⑧

古川さんの種子紹介② イケマ

ガガイモの仲間の種は長い綿毛を持っていて風によって運ばれます。イケマは北海道～九州の山地に生える多年草です。



⑫

田んぼで餌を探していたチュウサギ(夏鳥)



⑪

手賀沼で増加傾向にある外来種のツルノゲイトウ



⑩

細かく分かれた茎がホウキのように見えることがホウキギクの名の由来



⑨

ニシキギ科の植物につくキバラヘリカメムシ(写真はマユミの葉)



⑦

種に翼があり庭木などにも利用されるシマトネリコは熱帯原産の植物

鳥が関係する種子散布

【貯食散布(ちょしょくさんぷ)】

カケスやヤマガラは冬の食料のためにナッツ類を貯蔵します。ナッツを食らせる植物にとっては種の部分を食われてしまうことになるので、種子散布につながらないように思えますが、鳥が貯蔵して、そのまま忘れると発芽につながります。

【被食散布(ひしょくさんぷ)】

実の色を赤や黒などの目立つ色にして、鳥に場所を知らせ実を食べてもらい、鳥が他の場所でフンを落とすことで種子を運んでもらう。

右に示した発芽実験では、ただまいた種より鳥の糞に含まれていた種子のほうが発芽率が高いことがわかります。これは鳥の消化管内を通過することによって、よけいな皮が除去され、内果皮(ないかひ)、種皮(しゅひ)も適度にやわらかくなるためであると考えられます。

植物名	置床種子数		180日後の発芽率(%)	
	糞からの種子	そのまままいた種子	糞からの種子	そのまままいた種子
マサキ	21	25	100	32
ネズミモチ	25	50	92	6
サカキ	30	20	73	20
ヒサカキ	55	180	31	10
トベラ	25	25	88	96
モチノキ	27	40	0	0
ヤブニッケイ	10	20	0	0
クサギ	25	-	100	-

引用：花・鳥・虫のしがらみ進化論

鳥が食べた種の発芽率